

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援チャーむ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者のニーズに合わせた支援をおこなっている。	子ども本人の意思を汲み取るよう努力したり、保護者の意見を取り入れ、個々のニーズに合わせて課題の提供等おこなっている。	子どもや保護者とのコミュニケーションを大事にしていく。課題等、子どもの発達段階に合わせてその都度準備していく。
2	子どもの特性に合わせて活動を提供している。	子どもの特性に合わせて、集団活動の内容を変えたり、必要なSSTをおこなっている。	集団活動やSSTに必要な知識を職員がさらに身に付け、教材等準備していく。
3	子どもが楽しみなら継続して通えるよう、配慮している。	利用時間が長い為、保護者と離れても子どもが安心して楽しく過ごせるよう、個々の子どもが好きな遊びを提供したり、地域の公園等様々な場所に出かけ、楽しめるようにしている。	今後も子どもが楽しみながら様々な経験を積めるよう、新たな集団活動や行事等検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	保育所等に対し、事業所から積極的に連絡を取ることができていない。	保育所等と積極的に連絡を取り、関わりの方法について話し合いをしていく。保育所等がおこなうイベントがあれば、事業所が参加できるか問い合わせをしていく。
2	ペアレントトレーニングの知識が不足している。	研修等参加しているが、職員一人ひとりがさらに知識を身に付けていく必要がある。	専門書や動画研修等活用しながら、保護者支援の方法について、職員一人ひとりが知識を深めていく。
3	保護者同士が十分に関わられる場を提供できていない。	親子で参加できる行事は提供しているが、子どもと一緒にいると、保護者同士が十分に話し合える時間がとれない現状がある。	保護者の意見を聞き取り、保護者同士で集まって話し合える場の提供について検討していきたい。